

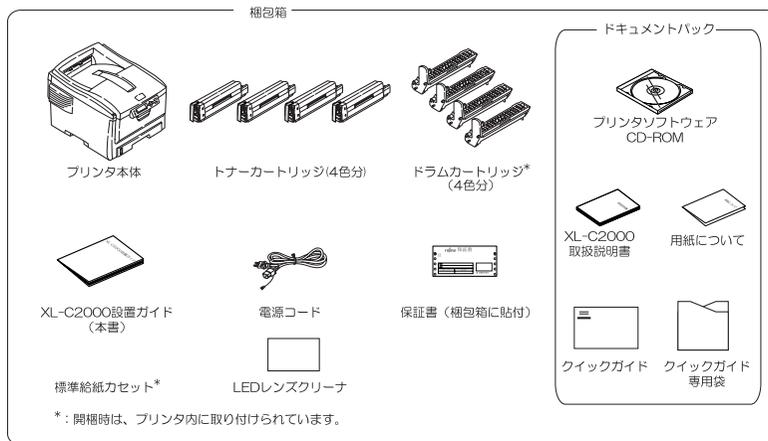
XL-C2000 設置ガイド

このたびは、ページプリンタ XL-C2000 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、ご購入されたプリンタを梱包箱から取り出し、使用できるようにするまでの設定を説明しています。
詳細は、『XL-C2000 取扱説明書』「第1章 お使いになる前に」～「第5章 プリンタドライバのインストール」を参照してください。

2003年 8月 初版発行
富士通株式会社

製品を確認する

本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。
万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。



お願い

- ・本プリンタには、パソコンとの接続ケーブル(プリンタケーブル、プリンタ USB ケーブル、プリンタ LAN ケーブル)は添付されていません。
パソコンに添付されているケーブルが別売ケーブルをお使いください。
- ・プリンタを移送する場合は、設置時に取り外した保護具が必要になります。梱包箱や緩衝剤、ストッパーリリース(8 ページ)は、捨てずに保管しておいてください。

ガイド

本プリンタは他のXLシリーズ・プリンタと比べた場合、装置や機能の名称が一部異なりますのでご了承ください。

設置上のお願い

安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

設置に適した場所

いつも良い状態でご使用いただける環境範囲は次のとおりです。

モノクロ印刷時

温度 10 ~ 32 湿度 20 ~ 80%RH (結露しないこと)

カラー印刷時

温度 17 ~ 27 湿度 50 ~ 70%RH (結露しないこと)

湿度 80%RH のときは温度 10 ~ 27、温度 10 のときは湿度 30 ~ 73%RH、温度 32 のときは湿度 30 ~ 54%RH でご使用ください。

冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、製品の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。

電源コンセント、アースについて

電源コンセントは本プリンタ専用にお使いください。

1つの電源コンセントを本プリンタ専用にご使用ください。複写機やエアコンなど消費電力の大きな機器や電氣的ノイズを発生する機器と同じコンセントから電源を取ると、電圧降下によるパソコンの誤動作、データ消失のおそれがあります。



警告

- 感電
火災
転倒
- ・電源プラグは、定格電圧100Vで、定格電流15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。
 - ・発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本プリンタの定格電源は、100V、8.5Aです。
 - ・プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。
 - ・電源コードが傷つき、感電、火災、故障の原因となります。
 - ・プリンタを10°以上傾けないでください。
 - ・転倒などによりけがの原因となることがあります。

電波障害や磁界障害が発生する場合

本製品を設置し、ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなど電波障害や磁界障害が発生する場合は、本製品の電源を切ってこれらの障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ・本製品とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
(特に磁界障害が発生した場合は、プリンタから20cm以上離すようにしてください。)
- ・本製品とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・本製品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

超音波加湿器の使用について

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、必ず純水をご使用ください。

設置スペースについて

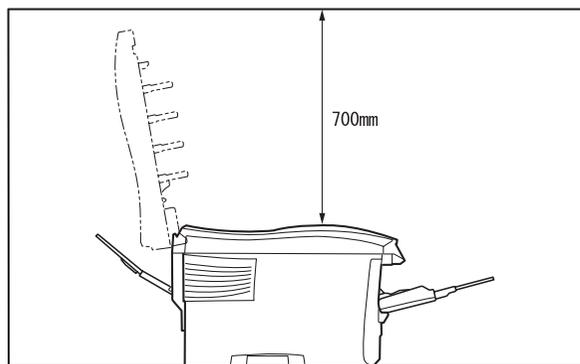
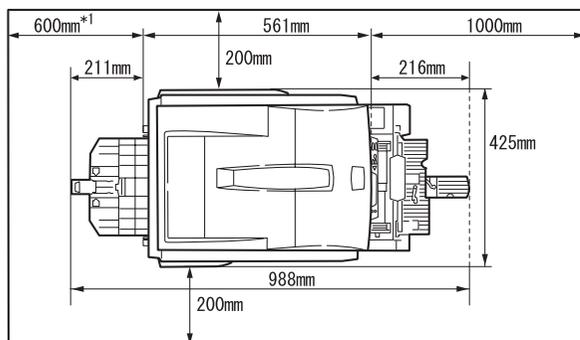


警告

火 災 プリンタの側面および背面には通気口があります。プリンタは壁から600mm以上離して設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

また、プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、本製品を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

プリンタの上部には日常の操作に必要な700mm以上のスペースを確保してください。



プリンタ本体の設置スペース (幅×奥行×高さ)
825×2161×1045mm^{*2}

- *1: 両面ユニット装着時は1000mm以上のスペースが必要です。
- *2: オプションは含みません。

プリンタを設置する

プリンタは、次の手順で設置してください。

梱包品を確認する

製品がすべて揃っていることを確認してください。

梱包されている製品は、「製品を確認する」(1ページ)に記載してあります。

オプション品について

オプション品を購入した場合は、梱包箱に印刷された取り付け手順、または『XL-C2000 取扱説明書』「第3章 オプションの装着」を参照して取り付けてください。

プリンタを設置する

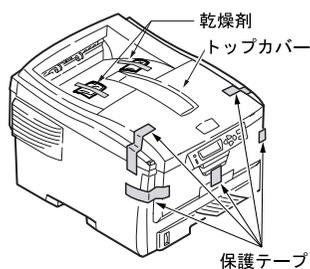
プリンタを設置場所に移動します。設置場所については、「設置上のお願い」(3ページ)を参照してください。

お願い

プリンタを移送する場合は、設置時に取り外した保護が必要になります。梱包箱や緩衝剤、ストップリリース(8ページ)は、捨てずに保管しておいてください。

乾燥剤、保護具を取り外す

- 1 トップカバー部の乾燥剤(2か所)とプリンタ前部の保護テープ(5か所)をはがす



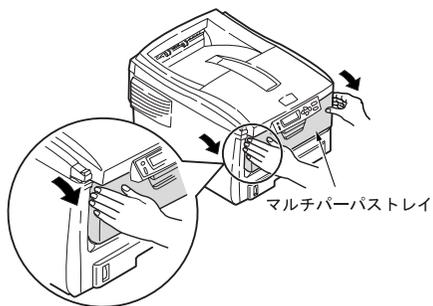
注意

故障 保護テープを付けたままプリンタを使用すると、故障の原因になります。

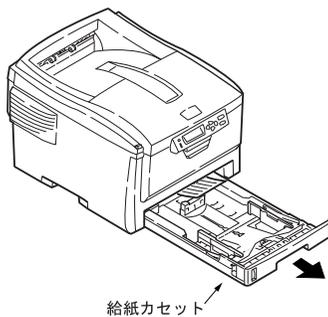
2 マルチパーパス（手差し）トレイ部にある紙を取り除く



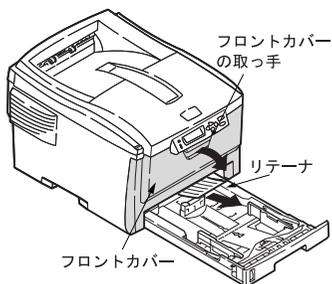
マルチパーパストレイを手前に開き、マルチパーパストレイ部にある紙を取り除いてください。



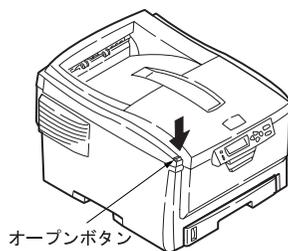
3 給紙カセットを引き抜く



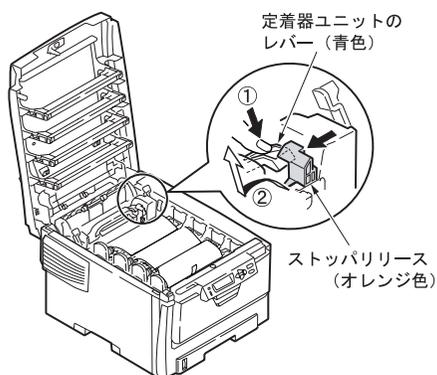
4 フロントカバーの取っ手を持ち上げてフロントカバーを手前に開き、リテーナを手前下側に引き抜く



-
- 5 フロントカバーを閉じて、給紙カセットを差し込む
-
- 6 オープンボタンを押し、トップカバーを開く
トップカバーは、手を離しても戻らない位置まで完全に開いてください。



-
- 7 定着器ユニットのレバー（青色）を矢印 の方向へ押し下げながら、ストップリリース（オレンジ色）の上部を左側に押しながら取り外す（ ）



お願い

- ・ストップリリースを左側に押す場合は、指を挟んだり、指に強くあたったりするおそれがあるため、十分に注意してください。
- ・ストップリリースはプリンタを輸送するときに使います。必ず保管してください。

カートリッジを取り付ける

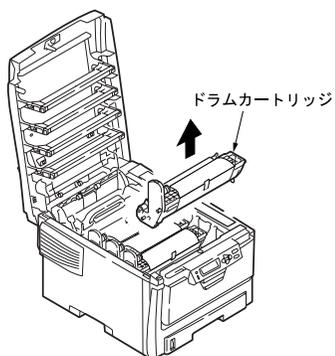
本製品は、未使用のドラムカートリッジがプリンタ本体に取り付けられています。

本製品を使用する前に、必ずドラムカートリッジおよびトナーカートリッジを正しく取り付けてください。

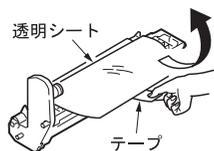


製品に添付されているトナーカートリッジの印刷可能枚数は、サプライ品と比較すると少なくなっています。A4 サイズに5%の密度で印刷した場合、約1,500枚印刷できます。

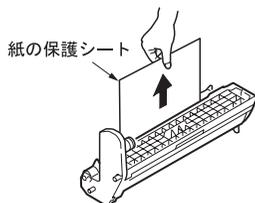
- 1 ドラムカートリッジ（4個）を静かに上に取り出す



- 2 透明シートを止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜く



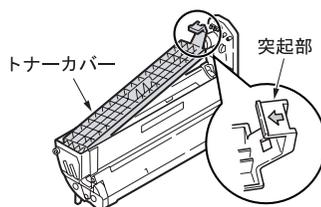
- 3 ドラムカートリッジから紙の保護シートを矢印の方向に引き抜く



4 テープをはがし、乾燥剤を取り除く



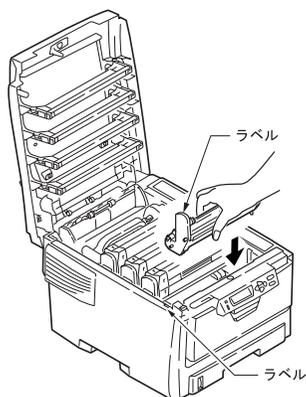
5 突起部を内側に押しながらトナーカバー（オレンジ色）を取り外す



お願い

トナーカバーは不燃物として処理してください。

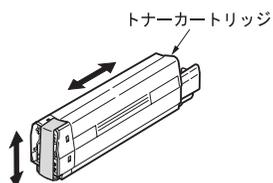
6 ドラムカートリッジのラベルの色とプリンタのラベルの色を合わせ、ドラムカートリッジ（4個）を静かに戻す



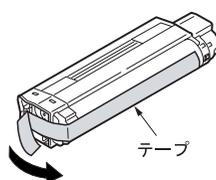
お願い

- ・感光ドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、絶対に手を触れないでください。
- ・ドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。また、室内の照明の下でも5分以上は放置しないでください。

- 7 トナーカートリッジ（4個）を包装袋から取り出し、縦と横に数回振る



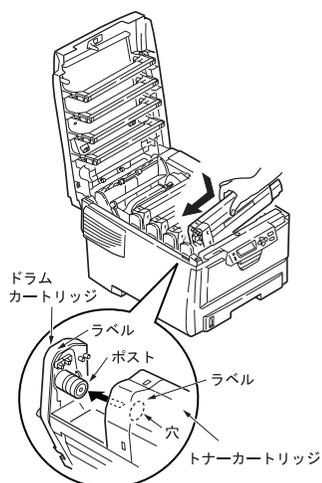
- 8 トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがす



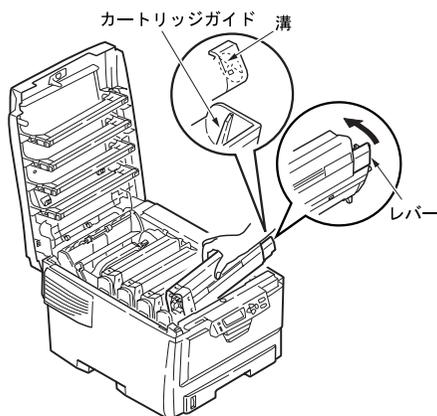
お願い

外気温の低い所で急いではがすと、テープが途中で切れることがあります。ゆっくりとはがしてください。

- 9 トナーカートリッジのラベルの色とドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認し、テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの左側の穴をドラムカートリッジのポストに差し込む

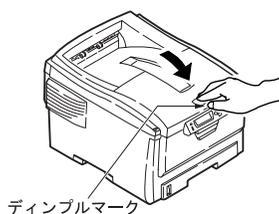


- 10 トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込み、トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回す



以上の手順を繰り返し、トナーカートリッジ（4個）を取り付けます。

- 11 ディンプルマークを押して、トップカバーを閉じる



ガイド

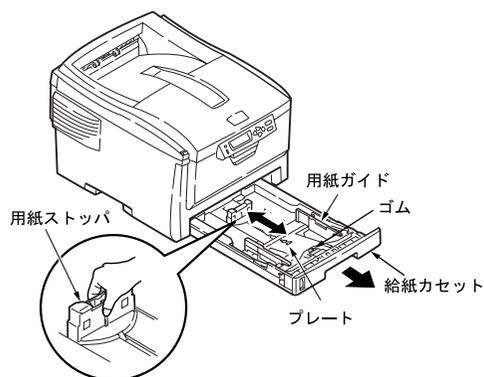
- ・トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らずレバーが回らないときは、トナーカートリッジとドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。ラベルの色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- ・トナーカートリッジがきちんと固定されていない場合、印刷品質が低下することがあります。
- ・トナーカートリッジを取り付けた後に、オペレータパネルの〔トナーコウカン ジュンビ〕または〔トナーナシ〕の表示がいつまでも消えないときは、上記の手順に従ってトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
- ・オペレータパネルに〔カートリッジ / レバー カクニン〕が表示された場合、トナーカートリッジが正しくセットされていない可能性があります。トナーカートリッジが正しくセットされ、トナーカートリッジのレバーが止まるまで回されているか確認してください。

用紙をセットする

給紙カセットや手差しトレイに用紙をセットする方法や使用できる用紙についての詳細は、『XL-C2000 取扱説明書』「第7章 用紙について」を参照してください。

ここでは、給紙カセット（標準装備）へA4サイズの用紙をセットする方法を説明します。

1 給紙カセットを引き抜く

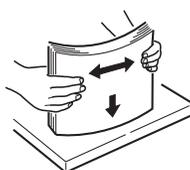


お願い

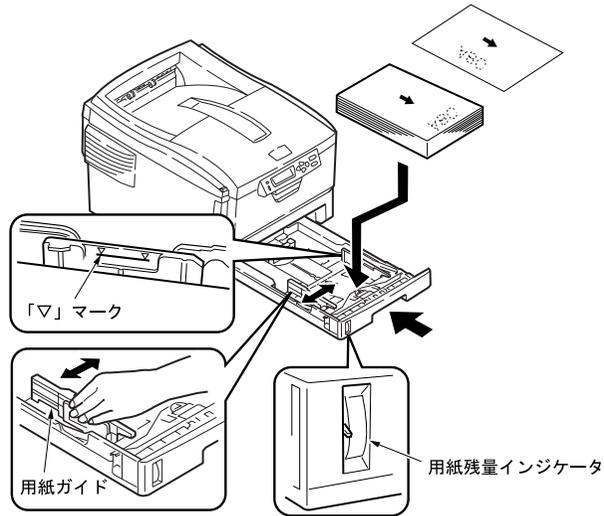
プレートについているゴムは、はがさないでください。

2 用紙ストップパを用紙サイズに合わせ、確実に固定する

3 用紙の上下左右をそろえる



4 印刷面を下に向けて、用紙をセットする



ガイド

給紙カセットに用紙が残った状態で新しい用紙を追加すると用紙が重なって給紙される場合があります。給紙カセット内の用紙が完全になくなってから用紙を補給することをお勧めします。

- 5 用紙ガイドを用紙サイズに合わせ、固定する
用紙ガイドの「 」マークを越えないようにセットします（坪量 64g/ m²紙で 350 枚）
- 6 給紙カセットをプリンタに戻す

ケーブルを接続する

ローカルプリンタで使用する場合は、プリンタケーブルまたはプリンタ USB ケーブルを使用して、プリンタとパソコンを直接接続します。
ネットワークプリンタとして使用する場合は、プリンタ LAN ケーブルを取り付けてプリンタをネットワークに接続します。

なお、本プリンタにはケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売ケーブルをお使いください。

ローカルプリンタとして使用する

プリンタケーブル

本プリンタは IEEE 1284 準拠の平行インターフェイスを標準装備しています。接続ケーブルについては、次の制約があります。

- ・パソコンとプリンタの接続には、シールドケーブルをお使いください。
- ・ケーブルの長さは、3メートル以下のものをお使いください。
- ・USB との同時接続はできません。



警告

感電 プリンタケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

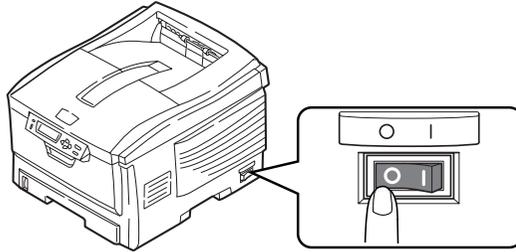


注意

故障 ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。特に接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。
誤った接続状態で使用すると、本プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

次の手順にしたがって、プリンタケーブルを接続してください。

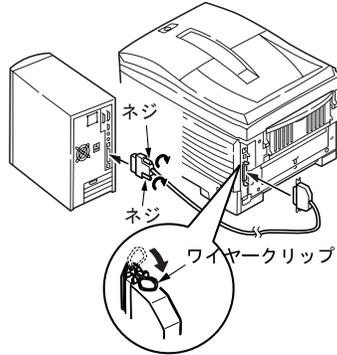
- 1 プリンタとパソコンの電源が切れていることを確認する
電源スイッチが〔 〕側に倒れていることを確認します。



お願い

プリンタケーブルを接続するときは、必ずパソコンの電源も切ってください。

- 2 プリンタの平行インタフェースコネクタにプリンタケーブルを差し込み、コネクタ両端のワイヤクリップで固定する



- 3 プリンタケーブルのもう一方のコネクタを、パソコンのプリンタコネクタに接続する
パソコン側への接続は、パソコンの取扱説明書を参照してください。

プリンタ USB ケーブル

本プリンタはUSB インタフェース（ハイスピードモード：480Mbps/ フルスピードモード：12Mbps）を標準装備しています。

接続ケーブルについては、以下の制約があります。

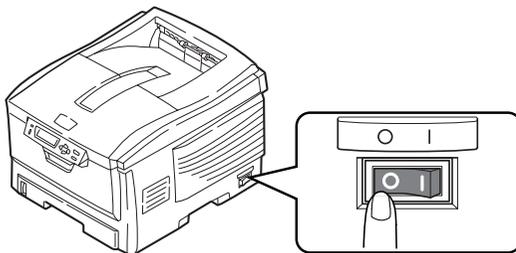
- ・ Windows 95/NT4.0 では動作しません。
- ・ Windows 95 から Windows 98/Me へアップグレードインストールした環境での動作は保証できません。
- ・ USB1.1 または 2.0 に準拠した USB ケーブルを用意してください。
- ・ パソコンとプリンタの接続に使用する USB ケーブルは、2 m 以下のシールドケーブルをお使いください。
- ・ 印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- ・ USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
- ・ 本プリンタと接続した USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクタ、またはセルフパワータイプの USB ハブ（電源コードや AC アダプタにより電源が供給されるタイプのハブ）のコネクタに接続してください。上記以外の USB コネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
- ・ パラレルとの同時接続はできません。

お願い

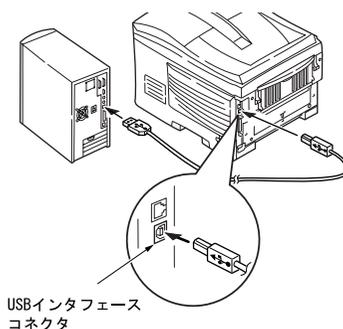
USB1.1 に準拠した USB ケーブルを使用する場合は、オペレータパネルの USB メニューでスピードを 12Mbps に設定してください。設定を変更せずに印刷を行うと、印刷速度の低下などの問題が発生する可能性があります。

次の手順にしたがって、プリンタ USB ケーブルを接続してください。

- 1 プリンタとパソコンの電源が切れていることを確認する
電源スイッチが〔 〕側に倒れていることを確認します。



2 プリンタのUSB インタフェースコネクタにプリンタ USB ケーブルを接続する



3 プリンタ USB ケーブルの他方を、パソコンの USB インタフェースコネクタに接続する

ネットワークプリンタとして使用する

本プリンタが対応している LAN インタフェースは、次のとおりです。

- ・100BASE-TX (FULL : 全二重モード / HALF : 半二重モード) に対応
- ・10BASE-T (FULL : 全二重モード / HALF : 半二重モード) に対応



参照

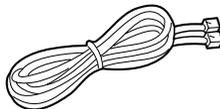
本プリンタをネットワークプリンタとして使用する場合は、オペレータパネルを使用してネットワーク情報 (IP アドレス / HUB LINK のモード等) を設定する必要があります。
詳細は、『XL-C2000 オンラインマニュアル』「第1章 ネットワークプリンタの設定」「IP アドレスを設定する」を参照してください。

プリンタ LAN ケーブルは、使用しているネットワークの接続形態に合ったツイステッドペアケーブルを用意してください。

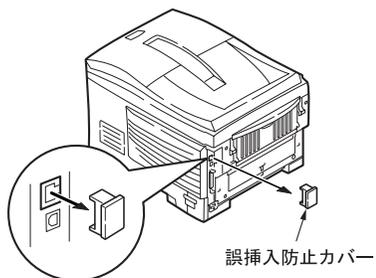


ガイド

100BASE-TX の場合は、カテゴリ 5 のケーブルが必要です。



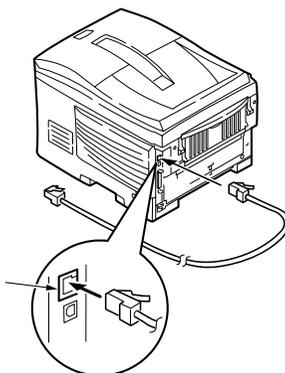
-
- 1 プリンタ本体背面のプリンタ LAN ケーブルコネクタに挿入されている誤挿入防止カバーを外す



お願い

誤挿入防止カバーは捨てずに保管し、ネットワーク接続しない場合に挿入してください。

-
- 2 プリンタ LAN ケーブルをプリンタのプリンタ LAN ケーブルコネクタに差し込む



電源を入れる



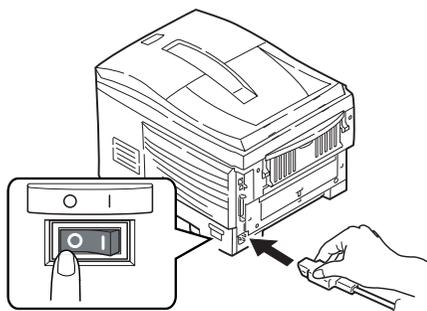
- 感電** ・電源プラグは、定格電圧100V、定格電流15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は、100V、8.5Aとなっています。
- ・万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。
 - 電源コンセントのアース端子
 - 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
 - 接地工事（D種）を行っている接地端子

次の手順にしたがって、電源を入れてください。

お願い

色ズレが発生する場合がありますため、電源を入れた後はプリンタを揺らさないでください。
色ズレが発生した場合は、『XL-C2000 取扱説明書』「第11章 こんなときには」の「印刷品質が低下したとき」を参照してください。

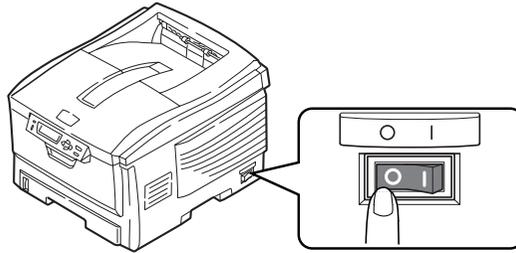
- 1 電源コードをプリンタ本体背面にある電源コードコネクタに差し込む
電源が切れていることを確認してから作業してください。



- 2 電源プラグをコンセントに差し込む
コンセントのアース線をアース端子に接続します。



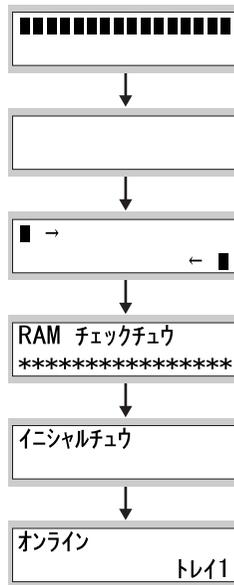
- 3 プリンタ本体右側面にある電源スイッチの〔 I 〕側を押す
電源が入ります。



- 4 オペレータパネルの液晶ディスプレイに、〔イニシャルチュウ〕と表示される。この表示が〔オンライン トレイ1〕に変わることを確認する



オンライン表示後は、しばらくの間「ウォーミングアップ」「カラー
チョウセイチュウ」が交互に表示されます。



液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された場合は、メッセージの内容を確認して対処してください。また、オンライン表示にならないときや対処方法がわからない場合は、『XL-C2000 取扱説明書』「第11章 こんなときには」「メッセージが表示されるとき」を参照してください。

プリンタの設定内容を確認する

プリンタの設置後は設定内容の一覧を印刷し、オプション品が正しく取り付けられているか、またプリンタが正しく設置され、動作しているかどうかを確認してください。

お願い

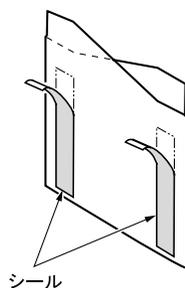
設定内容を印刷するときは、必ず A4 の用紙を使用してください。A4 以外の用紙でメニュー印刷を行うと、すべての設定内容が印刷できないことがあります。

- 1 給紙カセットに A4 用紙をセットする
- 2 [オンライン] スイッチを押し、[オフライン] とする
- 3 [メニュー+] スイッチを 1 回押し、[インフォメーション メニュー] と表示する
- 4 [設定] スイッチを 1 回押し、[セッテイ ナイヨウ インサツ] と表示する
- 5 [設定] スイッチをもう 1 回押す
設定内容一覧 (2 枚) の印刷が開始されます。
- 6 印刷終了後、[オンライン] スイッチを押し、[オンライン] とする

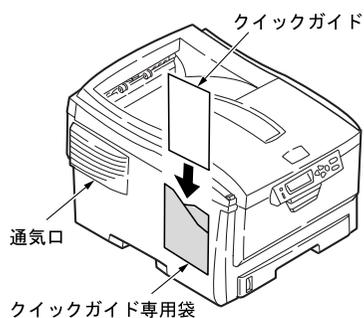
クイックガイドを収納する

クイックガイド専用袋をプリンタに貼り付け、クイックガイドをしまします。

- 1 クイックガイド専用袋を裏側にして、シール（2ヶ所）をはがす



- 2 クイックガイド専用袋をプリンタに貼り付ける



お願い

プリンタの通気口を塞がないように貼り付けてください。

プリンタの環境を設定する

『XL-C2000 取扱説明書』「第4章 外部との接続」、『XL-C2000 オンラインマニュアル』「第1章 ネットワークプリンタの設定」を参照して必要な設定を行ってください。

環境設定が終了したら、『XL-C2000 取扱説明書』「第5章 プリンタドライバのインストール」を参照して、各パソコンにプリンタドライバをインストールしてください。

プリンタドライバで設定する

オプション品を取り付けた場合は、プリンタを使用するパソコンで、プリンタドライバの設定をしてください。

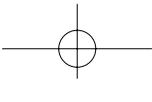


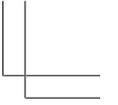
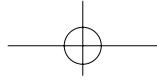
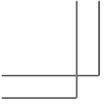
- ・プリンタドライバのインストールが済んでいない場合は、まずプリンタドライバをインストールしてください。
- ・パソコンのOSによって、手順が異なる場合があります。各プリンタドライバでの設定手順は、XL-C2000 取扱説明書を参照してください。
- ・WindowsNT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合、オプション品の設定をするときには、Power User グループメンバーのユーザー、または Administrator でログインしてください。Power User グループの詳細については、Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 に付属の説明書を参照してください。

(例) Windows Me 用プリンタドライバの場合

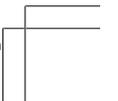
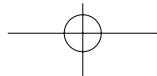
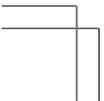
- 1 [プリンタ] ウィンドウを開いて、XL-C2000 のプリンタアイコンを選択する
- 2 [ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックし、表示されたダイアログボックスの [デバイスオプション] タブをクリックする

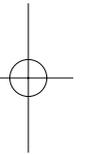
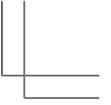
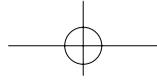
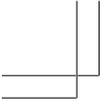


- 
- 
- 
-
- 3 取り付けたオプション品の設定を有効にする
拡張給紙ユニットを装着している場合は、〔トレイ数〕を2にします。両面ユニットを装着している場合は、〔両面ユニット〕チェックボックスをオンにします。なお、プリンタRAMモジュールの追加に関する設定は、ここでは不要です。
-
- 4 〔OK〕をクリックする
これで、プリンタドライバで行うオプション品の設定は終了です。
この作業が終了すると、本プリンタを使用できる状態になります。
-



メモ





このマニュアルは再生紙を使用しています。

B5WY-A012-01-01

